

作業手順書

場所: ネットヨタ青森株式会社 青森店

作業: 洗車作業

- ・作業準備(身だしなみ)
- ・車両清掃基本作業

作成者: ネットヨタ青森株式会社

初版作成: 平成29年6月5日

最終更新: 平成29年6月16日



■作業準備(みだしなみ・注意事項)



POINT! ファスナーを上まで閉じて前立てのマジックテープを止める。



×悪い例:ファスナーが開いているボディに当たると塗装にダメージを与えます!



POINT! 袖口のマジックテープを止める。腕時計などは外して作業をする。



×悪い例:袖口が開いている水が入り込んだり道具類にひっかかります!



POINT! 爪が伸びていると、ボディや内装を傷つけてしまう可能性があるため、短めに整えておくこと。

お客様の大切なお車です。1台1台丁寧に扱きましょう。

■車両清掃基本作業(使用するもの)



■車両清掃作業の基本的な流れ

基本作業

1. 下洗い(高圧洗浄機)
2. 泡洗い(カーシャンプー・スポンジ)
3. 泡を流す(高圧洗浄機)
4. 水滴の拭き上げ(ウェス)
5. 車内の拭き清掃
6. 掃除機がけとゴミの片付け(掃除機)
7. 点検シールはがし・貼りかえ

追加作業(汚れや指示にあわせて追加で行う作業や注意点)

| | |
|-----------------|-----------------------|
| A: ハイルーフ車作業 | ハイルーフ車の洗車時の注意点 |
| B: ウィンドウガラス油膜取り | ウィンドウガラスの汚れが目立つ際の追加作業 |
| C: ボディコート | お客様から要望があった際の追加作業 |
| D: SCC補修 | SCCシールがある車両が対象の追加作業 |
| E: 虫取り | カーシャンプーで落ちない虫の死がいの除去 |
| F: 室内ガラスコート | 室内のガラス汚れが目立つ際の追加作業 |
| G: サイドミラーコート | サイドミラーの水シミが目立つ際の追加作業 |
| H: 鉄粉除去 | 担当者からの作業指示があった際の追加作業 |

■作業全体の流れ一覧

全体の
流れ

1. 下洗い(高圧洗浄機)

→追加:ハイルーフ車の場合(ハイルーフ車作業)

2. 泡洗い(カーシャンプー・スポンジ)

3. 泡を流す(高圧洗浄機)

→追加:ウインドウガラスの油膜取り

→追加:ボディコートがする場合

→追加:SCC補修がある場合

→追加:虫取り作業

泡を流して、
水滴の拭き上げ
前に作業する。

4. 水滴の拭き上げ(ウェス)

5. 車内の拭き清掃(ウェス)

→追加:室内ガラスコート

車内清掃と
一緒に行う。

6. 掃除機がけとゴミの片付け(掃除機)

7. 点検シールはがし・貼りかえ

→追加:サイドミラーコート

→追加:鉄粉除去

最後に行う。

通常は、基本作業のみで行うが、追加作業の指示があった際には上の順序に従い実施すること。

■ 下洗い(高圧洗浄機でボディの汚れを落とす)

汚れは下へ落ちるので、すべての作業は上から下へ順番に行うこと！

※ハイルーフ車の場合(ヴェルファイア・シエンタ等)ハイルーフ作業手順書を確認すること



上から下へ

① 高圧洗浄機操作のスイッチを確認して、ガンを構える。

4月～9月ころ

10月～3月ころ



温度設定: 低
操作スイッチ: ボイラーランプ



温度設定: 中
操作スイッチ: ボイラーランプ



片手でガン本体を、もう片手でグリップを握り、レバーを引くと水が出る。

② 高圧洗浄機で水洗いをする(高い所から低い所の順番)

窓が閉まっているか確認

1. ルーフ
2. フロントガラス
3. ボンネット
4. リアガラス
5. リアドア・トランク
6. サイドウインドウ
7. ドア・サイドミラー
8. タイヤ・ホイール

作業手順

水圧でボディを痛めるのでガンの先端とボディは30cm以上離す



ルーフ



フロントガラス・ボンネット



リアガラス・リアドア



サイドウインドウ・ドア(両側)

■泡洗い1(カーシャンプー・スポンジ)

①カーシャンプーを用意する



バケツの半分くらいまで水を入れ(半分で約5リットル)、
カーシャンプーをキャップ5杯分入れて軽く混ぜる(水1リットルにキャップ1杯)。
※分量に慣れてきたらキャップを使わず直接入れる。

②ボディを泡洗する(高い所から低い所の順番)

作業手順

1. ルーフ
2. フロントガラス
3. ボンネット
4. リアガラス
5. リアドア・トランク
6. サイドウィンドウ
7. サイドミラー
8. ドア
9. タイヤ・ホイール

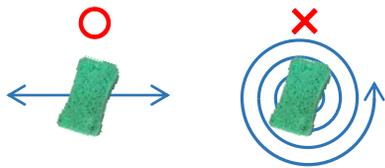
スポンジに泡をたっぷり含ませて、泡でやさしく手洗いをする。



フロントガラスが水を弾いていたなら、撥水加工をしています。カーシャンプーで洗うと効果が落ちるのでガラス面の泡洗いはしないこと！！
※見極めが難しいため、慣れるまでは先輩や上司に確認をすること。



■ 泡洗い2 (カーシャンプー・スポンジ)



スポンジにたっぷり泡を含ませて、まっすぐ動かしてやさしく洗う。
強くこすったり、ぐるぐる渦巻きのように動かさない。



必ず高い所から低い所の順番で洗う。



アンテナは立てて洗う。



ワイパーを立てて洗う。
ワイパーのゴムもやさしく拭き、洗ったら倒す。



グリルやエンブレムの溝も丁寧に洗う。虫の死がいが多いので注意する。



ワイパーを立てて洗い、洗ったら倒しておく。



リアは車種によって複雑な形が多いので時間をかけて丁寧に。



ガラス→サイドミラー→ドアの順番で洗う。



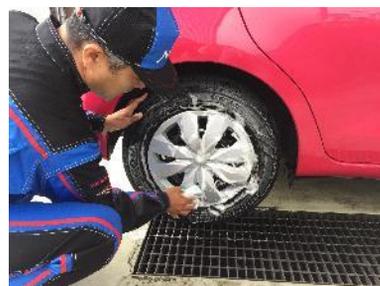
サイドミラーの外側と内側、ドアとの隙間も洗う。



ドアハンドルの内側も洗う。



タイヤ部分をタイヤに沿って洗い、その後ホイール部分を洗う。ホイールは汚れが多いので細かいところまでしっかり洗う。



■泡を流す(高圧洗浄機)

①高圧洗浄機操作のスイッチを確認して、ガンを構える。

4月～9月ころ

10月～3月ころ



温度設定: 低
操作スイッチ: ボイラーランプ

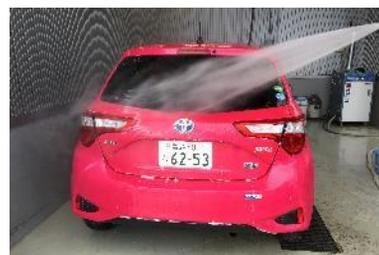


温度設定: 中
操作スイッチ: ボイラーランプ



片手でガン本体を、もう片手でグリップを握り、レバーを引くと水が出る。

②高圧洗浄機で水洗いをする(高い所から低い所の順番)



高い所から低い所の順序で高圧洗浄機で水洗いをする。シャンプーの泡がなくなるまで続ける。グリルやエンブレムの溝などは泡が落ちにくいので何度か往復して泡を綺麗に流す。

※ワイパーが立ったままだと水圧で倒れるため、ワイパーは倒した状態で水洗いすること!

■水滴の拭き上げ1(ウェス)

ボディに水滴が残らないように、ウェスはよく絞って水気を切りながら使う。
ガラス面は9の作業でまとめて拭くようにする。



直線の動きで拭く。



ドアハンドルの内側も拭く。

作業手順

1. ルーフ
2. ドア外側
3. ドア内側
4. ボンネット
5. 反対ドア外側
6. 反対ドア内側
7. リア
8. サイドミラー
9. ガラス面すべて
10. タイヤ・ホイール



ドア内側塗装部分を拭く。

ドアを開き、内側の塗装部分の水気もしっかりと拭くこと。

■水滴の拭き上げ2



リアスポイラー・エンブレム・ナンバー・ライトなど複雑な形状のパーツが多いため、丁寧に拭き取る。

作業注意箇所



サイドミラー付近は水滴が残しやすいので丁寧に拭き取る。



ウインドウを拭く際はワイパーを立て、拭き終わったらワイパーを倒す。



エンブレム・グリル・ナンバー周りは水滴が残しやすいので丁寧に拭き取る。



窓ガラスは拭く前にウェスを水洗いして固く絞り、綺麗な状態で拭くこと！

※ドアバイザーのある車両の場合

ドアバイザーに隠れている部分の水気を取るため、エンジンをかけてウインドウを少し下げ、ウェスで拭き上げる。作業が終わったらウインドウを上げてエンジンを停止する。



ウインドウを少し下げる



水気・汚れを取る。拭いたらウインドウを元に戻す。

■車内の拭き清掃

作業手順

ウェスを水洗いして絞り、拭く

1. フロントガラス(内側)
2. 座席ドアのガラス(内側)
3. ダッシュボード周り
4. リアガラス(内側)
5. リア内装部分



ガラス内側を拭く。
まっすぐの動きで拭く。



ナビのアンテナ線にさわらない！



運転席・助手席・後部座席のガラス内側を拭く。



①ハンドル、②ダッシュボード周辺、③グローブボックス、④シフトレバー周辺とエアコン吹き出し口を拭く。

※ナビの画面は精密機械のため、触らないこと！！

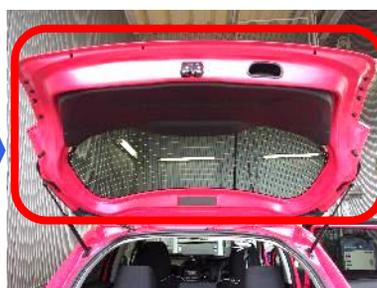


座席ドア内側の樹脂部分はドアを開いて外から拭く。



ウェスを一度水洗いしてかたく絞ってからリアガラス内側を拭く

※ヒーター線があるため、必ず左右の動きだけで吹くこと！



ガラス以外の塗装部分・樹脂部分を拭く。



内側塗装部分・室内樹脂部分を吹き終わったらリアドアを閉じる。



ヒーターの機械部分には触らない！

■掃除機がけとゴミの片付け(掃除機)

作業手順

1. 前席・後席のマットを外す
2. マットに掃除機をかける
3. 車内に掃除機をかける
4. マットを戻す
5. ごみの片付け
6. 吸殻ごみの片付け



黄色で囲った場所に掃除機ノズルがある。赤丸で囲った場所を押すと吸い込み動作で、離すと止まる。使い終わったらノズルは元の場所に戻す。



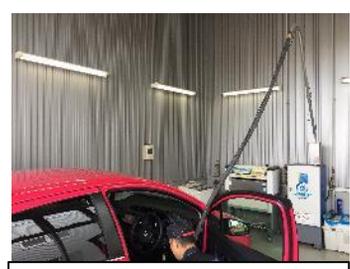
一の向きはロック状態



二の向きはロック解除



ゴミが飛ばないように、やさしく持ち上げてゆっくりと車外にマットを運び、地面に置く。



掃除機ホースをボディにこすらないよう注意する。



すべてのマットに掃除機を丁寧にかける。



すべての足元に掃除機をかける。



特に端や角にはゴミがたまりやすいので丁寧に。



全ての掃除機が終わったらマットを全て戻す。



ゴミ箱・ゴミ袋からゴミだけを取り出し分別する。袋はそのままにする。

燃えるゴミ

ペットボトル

カン

ビン

分別ルール



吸殻ゴミがある場合、燃えるゴミに捨てること。

■点検シールはがし・貼りかえ(スクレイパー・ウェス)

作業手順



事前にどのシールをはがすか指示があるので、確認すること！

1. 点検作業担当者または上司から新しいシールを受け取る
2. スクレイパーで古いシールをはがす
3. 濡らしたウェスでガラスを拭く
4. 新しいシールを貼る



点検シール(丸い)
※色は毎年違う



車検シール普通車
(四角い・薄い青)



車検シール軽自動車
(四角い・黄色)



スクレイパーを使う。



スクレイパーをシールとガラスの隙間にに入れて、はがしていく。
はがしたら濡らしたウェスでガラスについたノリをふき取る。



スクレイパーは少しずつ力を入れながら使う。
ナビのアンテナ線などに傷をつけないように注意すること！



点検シール裏面に書いてある「月」を確認する。
※このシールは6月



裏面に書いてあった月だけを指で押さえて残りをすべてはがす。



はがすと上の写真のようになるので、これをフロントガラスに貼り付ける。

作業手順書

場所: ネットヨタ青森株式会社 青森店

作業: 洗車追加作業

- ・ハイルーフ車作業
- ・ウインドウガラス油膜取り
- ・ボディコート
- ・SCC補修
- ・虫取り
- ・室内ガラスクリーナー
- ・サイドミラーコート
- ・鉄粉除去

作成者: ネットヨタ青森株式会社

初版作成: 平成29年6月11日

最終更新: 平成29年6月16日



■ハイルーフ車作業(追加作業)

洗車車両がハイルーフ車の場合の注意点



泡洗いと拭き上げ作業には脚立(きやたつ)を使って作業を行う。



ボディに脚立をぶつけると傷がついてしまうので、30センチほどの距離を開けること。



高圧洗浄機は脚立を使わず、左のように高く持ち上げて作業を行う。

高圧洗浄機の水圧で脚立から落ちる事故を防止するため。

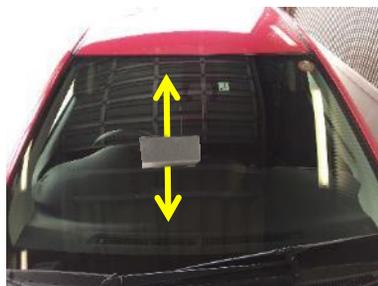
■ ウィンドウガラス油膜取り(指示があった際に作業を行う)

洗剤の泡を水で流して、濡れたままの状態で作業をする



準備するもの

- ・油膜取り
- ・油膜取り用スポンジ(硬め)

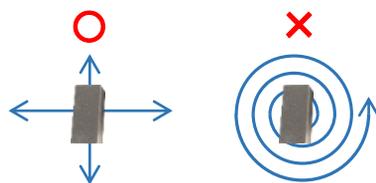


油膜取り用スポンジに油膜取りを500円玉くらいの量をつけて、全てのガラス部分に薄く均一に伸ばす(ボディ・サイドミラーには塗らない)。

塗る際にはタテかヨコに一方向の動きで塗ること。
くるくると円を描かない！



ゴムの樹脂部分に油膜取りが着かないように注意する。ついた場合は濡らしたウェスですぐに拭き取る。



終わったら、水滴の拭き上げ作業(ウェス)をする

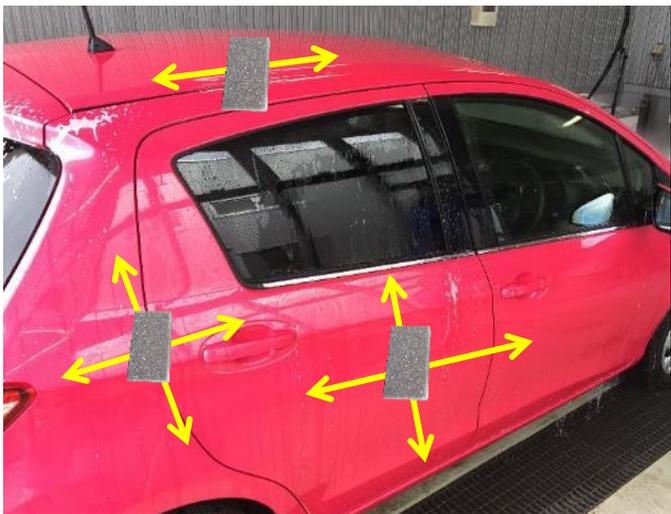
■ボディコート(指示があった際に作業を行う)

洗剤の泡を水で流して、濡れたままの状態で作業をする



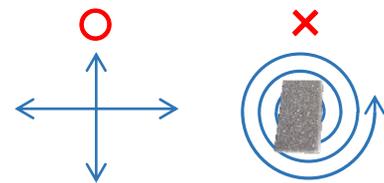
準備するもの

- ・ボディコート剤
- ・専用スポンジ



専用のスポンジにコート剤を500円玉くらいの量をつけて、ボディ全体に薄く伸ばして塗っていく(ガラスには塗らない)。

塗る際にはタテ・ヨコの動きで塗ること。
くるくると円を描くようにはしない！



終わったら、水滴の拭き上げ作業(ウェス)をする

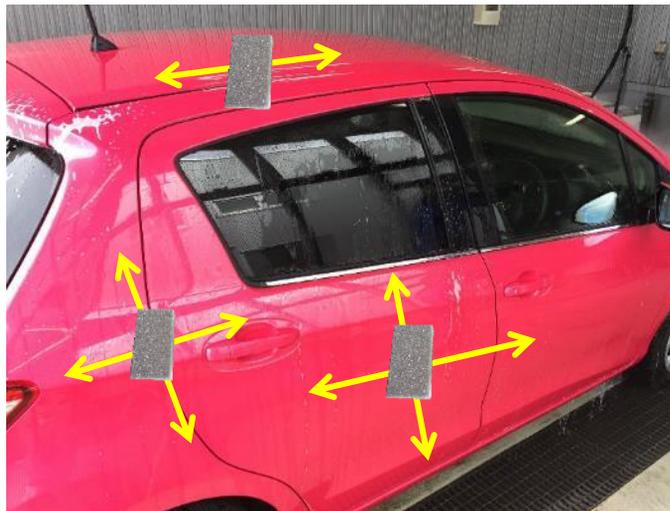
■ SCC補修(指示があった際に作業を行う)

SCCシールの貼ってある車両を対象としたコーティング補修
洗剤の泡を水で流して、濡れたままの状態で作業をする



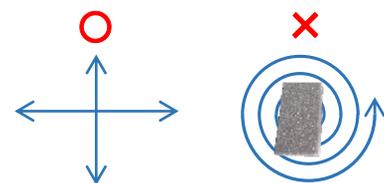
準備するもの

- ・SCCコート剤
- ・コート用スポンジ
- ・専用拭き取りウェス



専用のスポンジにコート剤を500円玉くらいの量をつけて、ボディ全体に薄く伸ばして塗っていく(ガラスには塗らない)。

塗る際にはタテ・ヨコの動きで塗ること。



SCCコート専用の拭き取りウェスを使い、丁寧に優しく拭き上げる。

タテ・ヨコの動きで拭き上げること。

終わったら、水滴の拭き上げ作業(ウェス)をする

■虫取り(指示があった際に作業を行う)

泡を洗い流しても虫の死がいが残っている場合に実施



準備するもの

- ・虫取り
- ・濡らしたウェス



水洗いをしたウェスに、虫取り剤を数滴つけて、虫の死がいを拭き取る。

最初は弱い力で拭き取る。
とりにくい場合は虫取りの液を多めにウェスにつけて濡らしながら少し時間をかけて拭き取る。



終わったら、水滴の拭き上げ作業(ウェス)をする

■室内ガラスクリーナー（指示があった際に作業を行う）

車内の拭き清掃時、ガラス汚れが目立つ際に実施する



準備するもの

- ・ガラスクリーナー
- ・乾いたウェス



ガラスクリーナーを、汚れている部分に向けて直接2～3回スプレーをする。



乾いたウェスで丁寧に拭いて、ムラなく仕上げる。

終わったら、室内清掃作業の続きをする

■サイドミラーコート(指示があった際に作業を行う)

最後の仕上げ作業として行う。



準備するもの

- ・ミラーコート
- ・乾いたウェス



乾いたウェスにミラーコートを3~4回
プッシュして、ミラー部分を拭き上げる。

にじみや拭き後が残らないように何度
も吹くこと。

ミラー以外の部分にコート剤がついた
場合はすぐに拭き取る。

終わったら、作業終了です

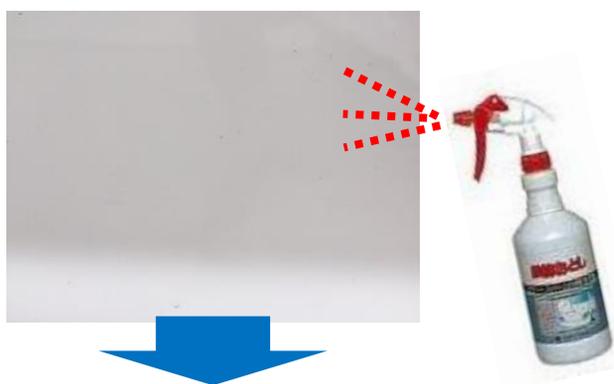
■鉄粉除去(指示があった際に作業を行う)

シャンプーで取れない鉄粉を除去する際に実施



準備するもの

- ・鉄粉落とし
- ・高圧洗浄機



鉄粉のある場所(主にボディ下の部分や、ホイール)に鉄粉落としを直接スプレーする。

2分ほどすると鉄粉が赤く浮き出てくる。



鉄粉が浮き出てきたら高圧洗浄機で洗い流す。

赤い薬剤が見えなくなったら作業完了。

